

オペレーションズ・リサーチ—経営の科学—

—バックナンバーのご案内—

- | | |
|--|--------------------------|
| 2002年 (Vol. 47) | 4月号 中堅・中小企業における戦略的情報化 |
| 11月号 情報通信と放送のデジタル融合とその課題 | 3月号 アルゴリズム工学 |
| 10月号 JABEE | 2月号 論文・事例研究 論文・研究レポート |
| 9月号 データマイニング | 1月号 経営学におけるゲーム理論と決定理論 |
| 8月号 ビジネスモデル | 1999年 (Vol. 44) |
| 7月号 地震被害軽減のための戦略的アプローチ | 12月号 少子・高齢化問題II |
| 6月号 企業と環境問題 | 11月号 企業事例 |
| 5月号 ファジィOR | 10月号 パートナリング |
| 4月号 JIT生産システムの数理 | 9月号 少子・高齢化問題 |
| 3月号 スポーツとOR | 8月号 ソフトウェア信頼性評価法の新潮流 |
| 2月号 データ解析コンペティション：
金融マーケティング(2) | 7月号 医療システムとOR |
| 1月号 企業事例 | 6月号 サプライチェーンマネジメント |
| 2001年 (Vol. 46) | 5月号 大域的最適化 |
| 12月号 光時代の情報流通サービス | 4月号 地球環境問題，わが国の戦略 |
| 11月号 2001年の金融工学 | 3月号 スポーツの戦術とマネジメント |
| 10月号 マルチエージェント実験経済学 | 2月号 不動産の再生と不動産学への期待 |
| 9月号 サービスシステムのスケジューリング | 1月号 AHPの発展経緯と最近の話題 |
| 8月号 電力自由化を巡る新ビジネスの展開 | 1998年 (Vol. 43) |
| 7月号 建築のOR | 12月号 データウェアハウスとデータマイニング |
| 6月号 DEAモデルとその応用 | 11月号 企業事例 |
| 5月号 サポートベクターマシン：その仕組みと応用
—分類手法の新展開— | 10月号 GIS(地理情報システム)の活用事例 |
| 4月号 シミュレーションの数理：最近の動向 | 9月号 BOT——巨大プロジェクト実現の組織 |
| 3月号 企業事例 | 8月号 季節変動のマネジメント |
| 2月号 認識・感情・意思決定 | 7月号 社会科学における計量・数理分析の潮流 |
| 1月号 空間データ：最近の整備動向と新たな活用 | 6月号 自然災害と防災研究 |
| 2000年 (Vol. 45) | 5月号 待ち行列理論の最近の応用 |
| 12月号 データ解析コンペティション
—金融マーケティング— | 4月号 官庁統計 |
| 11月号 ヒューマンエラーからのリカバリ | 3月号 公益事業における規制緩和 |
| 10月号 暗号は社会を変える | 2月号 ユーザのための数理計画応用 |
| 9月号 最適配置問題 | 1月号 業務改革のための原価管理：ABCとABM |
| 8月号 企業事例 | 1997年 (Vol. 42) |
| 7月号 次世代道路交通システム—ITS— | 12月号 高校生のためのOR(2) |
| 6月号 スケジューリングの革新的アルゴリズム
—ラグランジュ分解・調整法— | 11月号 電子マネー |
| 5月号 金融・証券ビジネスとOR | 10月号 組織システム論の新たな展開 |
| | 9月号 多主体複雑系のパラダイム |
| | 8月号 通信・情報処理分野におけるORの実践 |
| | 7月号 組織知能と情報ネットワーク企業 |
| | 6月号 文科系のためのOR教育 |

*印は品切れ。価格 950 円 (本体 922 円) [Vol. 42 4月号からは定価 970 円 (本体 924 円)]

(社)日本OR学会

〒113-0032 文京区弥生 2-4-16 学会センタービル
Tel. 03(3815)3351(代) Fax. 03(3815)3352

平成 15 年 1 月

(社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会
会 員 各 位

(社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会

平成 14 年度第 1 回 OR 企業フォーラムのご案内

平素は当学会の諸活動に対し格別のご支援・ご協力を賜りまことにありがとうございます。お蔭様で OR の諸活動は産・官・学各界にわたり、さらなる充実を目指した広範な取り組みが展開されつつあります。

その一環として 1987 年より「OR 企業サロン」を創設し実施してまいりました。これは賛助会員企業のトップ経営者／ミドル管理者を主な対象として、当学会から効果的な経営戦略の策定・実施に真に役立つような OR および関連領域の話題を提供し、あわせてご参加の皆様との交流を深めていただくことを目的とした企画であり、幸い多数の方々からご好評をいただき参りました。さらに、一昨年からは対象者を広く一般学会員にもオープンにし、「OR 企業フォーラム」という名称のもとに活動を続けております。

OR 企業フォーラムは、講師の方の御講演をベースに OR 研究の対象であるオペレーションそのものの理解を深め、さらに会員各位の課題解決のヒントにさせていただくという趣旨で進めております。

平成 14 年度第 1 回の企業フォーラムは、京都にて開催致します。ゲストスピーカーとして、お二人の方をお招きしました。お一人目は京都コンピュータ学院 学院長 長谷川 靖子 氏です。コンピュータ教育 40 年の道をお話いただきます。コンピュータは今や誰もが個人でも使う道具として普及しております。OR 技術もコンピュータの高速化、高機能化のおかげで、手法の高度化、その適用分野の広範化が為されております。コンピュータ利用技術はあらゆる産業の基礎であるといえます。

お二人目は住友精密工業株式会社 専務取締役 中村 洋明 氏です。ニュービジネス追求事例をお話いただきます。新しいビジネスは新鮮な発想と多くの情報分析に裏付けられ成功するものです。OR 的発想が大いに関連するものと思われ

ます。お二方のお話を拝聴し、広く OR について、思いをめぐらしてまいります。経営管理者層の方々をはじめ、多くの方々に奮ってご参加いただけますようご案内申し上げます。

企画: 関西支部、運営: 「OR 企業フォーラム」企画委員会

平成 14 年度 第 1 回 OR 企業フォーラム(1月25日 関西)

第 1 部 (午後 2:00~3:30)

テーマ:「コンピュータ教育 40 年の道」

ゲスト・スピーカー: 京都コンピュータ学院

学院長 長谷川 靖子 氏

第 2 部 (午後 3:50~5:20)

テーマ:「ニュービジネス追求事例ー市場ニーズと企業シーズの狭間で」

ゲスト・スピーカー: 住友精密工業株式会社

専務取締役 中村 洋明 氏

ー 開催要領 ー

日 時: 平成 15 年 1 月 25 日(土) 午後 2:00-7:30

(懇親会を 5 時半から行います)

場 所: 〒601-8407 京都市南区西九条寺ノ前町 10-5

京都コンピュータ学院 京都駅前校 6F ホール

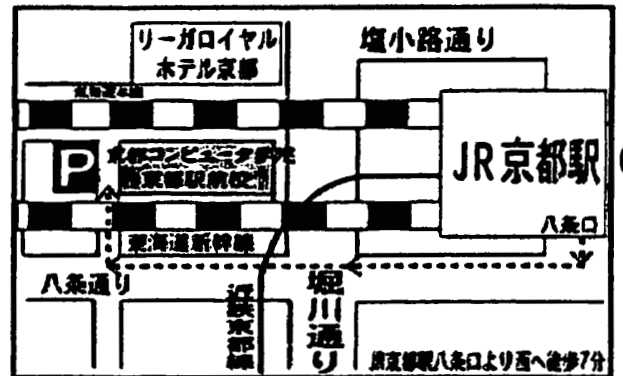
TEL (075-671-1911)

《交通》JR 京都駅八条口より徒歩 3 分

地図は下記 URL でもご覧いただけます。

<http://www.kcg.ac.jp/kcg/kcg.html>

今回の OR 企業フォーラムは、京都コンピュータ学院
創立 40 周年記念事業と共催で開催されます。



ー 参加お申込みの要領 ー

参加ご希望の方は学会事務局宛にお申し込み下さい。

お申し込みは E-mail にても承っておりますので、必要事項 (①フォーラム
の開催日 ②お名前 ③所属組織・部署名 ④連絡先住所 ⑤TEL または FAX 番号)
をご明記のうえ、

日本 OR 学会事務局 (forum@orsj.or.jp)

までご一報下さい。(お申込みは、1 月 17 日(金)までをお願い致します。)

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 TEL(03)3815-3351 FAX(03)3815-3352

To: (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 FAX (03) 3815-3352 E-mail: forum@orsj.or.jp

平成 年 月 日

「OR 企業フォーラム」申込書

第 1 回《関西》平成 15 年 1 月 25 日(土) 午後 2:00~7:30

御 氏 名	勤務先・所属大学	住 所 (連絡先)
		〒
		TEL
		FAX